

交差点カラー化の効果検証データを更新しました

香川県では、平成23年、24年の2ヶ年にわたり、人口10万人あたりの交通事故死者数が全国で最多となり、平成25年度から交通死亡事故抑止対策に取り組んできました。

令和2年9月に、平成28年5月末までに「交差点カラー化」を行った146箇所の効果検証を行った結果、「出会い頭事故」が約68%減少するなど、交通事故抑止効果が確認されました。

今回、新たに交差点のカラー化を行った箇所を含め、「交差点のカラー化」の対策後1年以上経過した186箇所で改めて効果を検証した結果、「出会い頭事故」の件数が約66%減少していることが分かり、交通事故抑止効果が継続していることを確認しました。

引き続き、整備方針に基づき、交差点カラー化を進めるとともに、事故減少効果を継続させるため、適切に維持管理を行ってまいります。

1 効果検証の対象

現在、県が管理する交差点のカラー化の対策箇所のうち、対策後1年以上経過した186箇所において、対策の効果を検証しました。

2 新たな交差点カラー化箇所の事故抑止効果（検証結果）

R2.9の検証の対象としたH28.5以降、53箇所で交差点カラー化を行いました。その53箇所において、出会い頭の事故件数の減少効果を確認したところ、施工前に比べ平均で約53%の減少が見られました(図1)

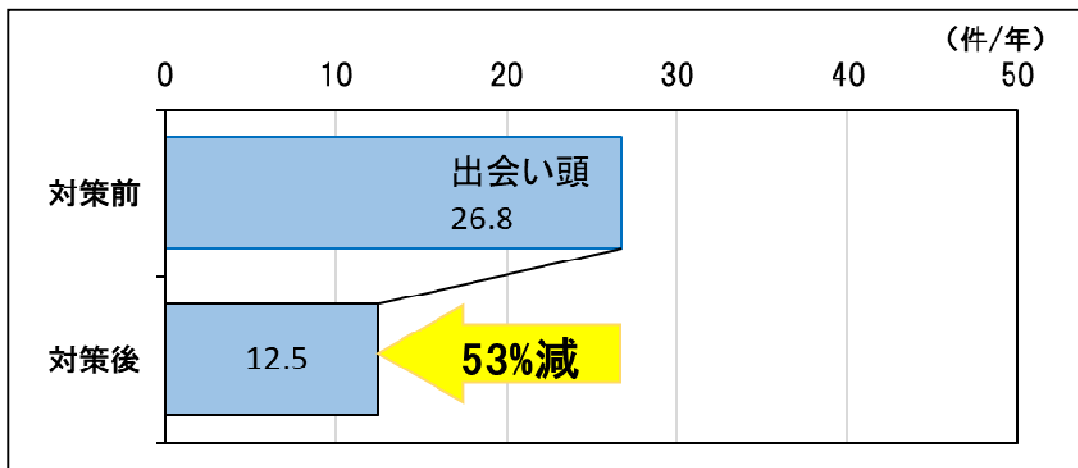


図1 新たに実施した交差点カラー化による「出会い頭事故」の減少効果(N=53)

3 県が管理する交差点カラー化箇所の事故抑止効果（検証結果）

令和3年11月時点で、県が管理する交差点カラー化の186箇所について、施工前4年間と施工後に発生した年平均事故件数を比較した結果、「出会い頭事故」の件数は、施工前に比べ平均で約66%の減少が見られました(図2)

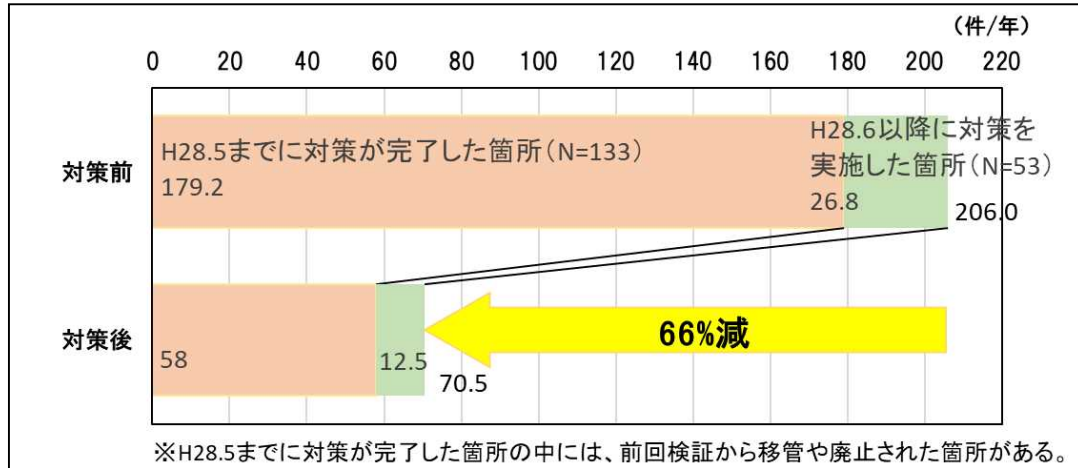


図2 県が管理する交差点カラー化箇所の「出会い頭事故」の減少効果(N=186)

4 交差点カラー化整備方針

既設道路における交差点カラー化は、交差点における死傷事故（人身）のうち、出会い頭事故が直近4年間で、4件以上発生している交差点に設置することとしています。

令和4年3月からは、既設道路の交差点に加えて、道路整備に伴い道路交通環境が大きく変化する交差点にも適用し、対策に取り組んでいます。(図3)。



図3 交差点のカラー化の事例

5 維持管理について

交差点カラー化を行った箇所については、現在、年一回定期点検を実施し、劣化状況によって、塗り直しを順次行っております。

今後も、交通事故抑止をするため、適切に維持管理していきます。

お問い合わせ

香川県土木部道路課

建設グループ

電話 087-832-3532